

みんなが納得できる

「公正」ってなんだろう?

中学生

高校生



あらすじ

東日本大震災を教訓にして、太平洋沿岸に位置するX町では、高台に避難施設を建設することになりました。しかし、町の予算だけでは建設費用が足りず、町民から新たに税金を徴収することにしました。

家庭の事情や設備の必要度合いの異なる町民全員が納得できる公正な負担とはどのようなものでしょうか。

授業の詳細

- 対象 : 中学生～高校生
 関連教科 : 社会科・道徳・国語・特別活動
 授業時間 : 100分 (50分×2コマ)

プログラムのねらい

税金の負担割合を考えることを通して、「公正」について考えていきます。
 複数の登場人物を通して他人の事情を理解する想像力を養い、社会における紛争を、「**公正な負担**」という観点から、適切に解決する方法を学んでいきます。

授業の流れ

模範解答を示しにくい問題を通して、グループディスカッションを中心にみんなで考えを出しあっていきます。

50分

「公正」の考え方の説明

グループディスカッション

家族構成、年収、居住地(海側/山側)等立場の異なる8名の当事者に扮してもらい、立場によって「公正」の考え方方が異なること、どうすれば全員が納得する「公正な税負担配分」になるかを検討する。

10分

30分

10分

各グループの配分案発表

他グループへの質問・反論

講評・まとめ